



# 病理診断科



## 診療科の特色

病理診断科は、日本では長い間、医療関係者以外にはほとんど知られていませんでした。しかし、医療の質の向上に伴い、病理診断が医療において重要な位置を占めていることが次第に認識され、平成20年に国は標榜科として認可し、病院内に診療科として掲げられるようになりました。

病理診断科では、採取された患者さんの病変から標本を作製し、病理医が顕微鏡で観察し病理診断を下します。病理医が患者さんと直接お話をすることはほとんどありませんが、患者さんの体の一部の病変組織を通じ、主治医グループの一員として診療に携わっています。病理診断は最終診断になる場合が多く、特に腫瘍の医療においては必須です。診断だけでなく、組織型により治療方法が異なる疾患があり、その決定にも病理は関与しています。病理診断科は「検査」ではなく「診断」という医行為を行い、高度医療における大きな役割を担っています。

また、治療が行われたにも拘わらず、患者さんが病死される場合があり、ご家族の同意が得られれば病理解剖が行われます。病理解剖は、臨床的に不明な点を明らかにし、施行された医療の評価が行われ、医療の質の向上と維持、医療の精度管理や医師の卒前・卒後教育に寄与しています。

当院には5人の病理専門医が勤務し、全検体がダブルチェックされ病理診断報告書が作成されます。

## 実績情報

項目	件数		
	2018年	2019年	2020年
組織診	9,585	9,522	9,586
迅速診断	547	520	518
細胞診	17,321	17,465	15,470
病理解剖	18	27	20

## 昨年度総括

カンサーボード(8回)、研修医CPC(12回)、全職種を対象とした包括的CPC(2回)、肝生検カンファランス(10回)等の院内カンファランス、埼玉病理医の会等の地域での学術集会、日本病理学会総会や日本臨床細胞診学会総会・大会等の国内学会に参加し、発表を行いました。

院内では病理診断確認忘れ防止対策としての電話連絡や標本貸し出し業務に関して、臨床各科や事務各課の人々と話しあい、改善する取り組みを行いました。病理診断報告未参照に関しては、2020年春以降は未参照率が0.2%~0.3%程度で推移し、比較的良好な経過で推移しています。

## 今年度の取組(診療体制)

臨床医との討議を重視し、臨床要求事項に的確にコメントできる報告書作成に努め、学術研究会に積極的に参加、発表する状況を維持し、病理内を整備し、より充実した体制を整えるよう努力していきます。



# 病理診断科



## 医師紹介



科長  
杉谷 雅彦 (すぎたに まさひこ)

**[取得資格等]**  
・日本病理学会/日本専門医機構 病理専門医・病理専門医研修指導医  
・日本臨床細胞学会 細胞診専門医・教育研修指導医  
・厚生労働省 死体解剖資格認定医  
医師の臨床研修に係る指導医講習会修了

### 診療顧問

長田 宏巳 (おさだ ひろみ)



**[取得資格等]**  
・日本病理学会/日本専門医機構 病理専門医・病理専門医研修指導医  
・厚生労働省 死体解剖資格認定医  
医師の臨床研修に係る指導医講習会修了

### 副科長

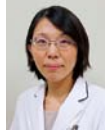
絹川 典子 (きぬかわ のりこ)



**[取得資格等]**  
・日本病理学会/日本専門医機構 病理専門医・病理専門医研修指導医  
・日本臨床細胞学会 細胞診専門医・教育研修指導医  
・厚生労働省 死体解剖資格認定医  
医師の臨床研修に係る指導医講習会修了

### 医長

横田 亜矢 (よこた あや)



**[取得資格等]**  
・日本病理学会/日本専門医機構 病理専門医・病理専門医研修指導医  
・日本臨床細胞学会 細胞診専門医  
・厚生労働省 死体解剖資格認定医

### 医員

大庭 華子 (おおば はなこ)



**[取得資格等]**  
・日本病理学会/日本専門医機構 病理専門医  
・日本臨床細胞学会 細胞診専門医  
・厚生労働省 死体解剖資格認定医

AGEO CENTRAL

ご依頼・お問い合わせ

病診連携係へのご連絡 予約直通 **048-773-5941**  
当日緊急受診相談 **048-612-1444**

〈病診連携係対応時間〉 平日8:30~17:30/土曜日8:30~13:00